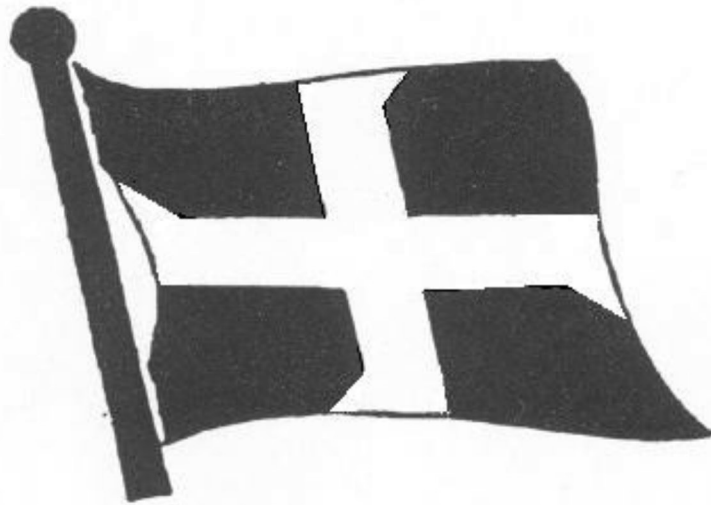


蒼穹NEWS

No.6

東大戦展望号

令和元(2019)年 9 月 21 日発行



～目次～

1. 主将挨拶、女子主将挨拶、監督挨拶
2. 東大戦展望
3. 東大戦日程
4. 同志社戦結果
5. 記録会等の結果

1. 主将・女子主将・監督挨拶

主将挨拶

来る9月28日に、駒場にて東大戦が開催されます。我々が目指すはもちろん、男女総合優勝です。

男子については、事前ランキングでは有利を取っていますが、6点制の二校対校の性質上急激に差が縮まりやすく、少しの緩みで一気に背中まで詰め寄られるのがこの東大戦です。東大も、七大戦で負け、さらに先日行われた一橋戦でも負け、その悔しさを、京大戦への意気込みに十二分に詰め込んでいることでしょう。ランキングで有利を取っていても気の抜ける相手ではありません。実際七大戦で勝って東大戦で負けた年もありました。

だからこそ私たちは、今年の七大戦のような、そして一昨年の228点のような、圧倒的勝利を目指さねばなりません。有利を取っている今のランキングからさらに得点を返し、屋過ぎには相手の心が折れるような試合運びをするべく、七大戦からの2か月、練習を重ねてまいりました。ひと夏を超え、七大戦よりさらに成長したこのチームを、そしてこの一年の集大成を、ご覧に入れられれば、と考えております。

蒼穹会の皆様におかれましては、今年は東京での開催ということでアクセスも良く、ぜひお越しいただければと思います。そして、大きな熱いご声援のほどを、よろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 三神 惇志

女子主将挨拶

来たる9月28日に東大戦が行われます。今年度の対校戦で、女子はまだ目標を達成出来ていません。最後の東大戦だけは目標達成し、男女で喜びを味わいたいです。

この1年間女子チーム全体の底上げを目指してやってきました。競技力は上がっているものの、まだ対校戦でランキングを覆すまではできなかったことが多かったように思えます。この夏、一層練習に励んで参りましたので、ここで女子全体で殻を破っていきたいと思います。

東大のエースは強力で、今年も接戦が予想されますが、とれるところをしっかりと守っていけば、優勝は出来るので、女子チーム一丸となって戦っていく所存です。去年の雪辱を果たし、一昨年の男女優勝のあの喜びをもう一度味わいたいです。

お忙しいところとは存じますが、蒼穹会の皆様には現地に足を運んでいただき、変わらぬご声援のほどよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部女子主将 後藤 加奈

監督挨拶

来る9月28日(土)、東京大学駒場グラウンドにて、東大戦が行われます。目標は男女総合優勝です。4回生にとっては幹部学年として臨む最後の対校戦となりますので、男女総合優勝を果たし、有終の美を飾ってほしいと思います。

男子は、申請記録上では優位な展開が予想されます。一年間積み上げてきたものを出し切ることができれば一昨年度に並ぶ大勝も十分見込める一方、慢心してはランキングを返され敗北を喫する可能性もあります。七大戦の大勝に甘んじることなく油断せずに臨み、駒場グラウンド改修後初の東大戦という記念すべき大会に京大の勝利を刻む所存です。

女子は、接戦が予想されます。勝つべき種目で点数を守りきり、それ以外の種目で相手の2番手に勝つ堅実な試合運びが求められます。僅差の接戦を制するためにはチーム力が求められますので、一丸となって勝利をつかみ取りたいと思います。

蒼穹会の皆様におかれましては、お忙しい中とは存じますが、ぜひとも会場に足を運んでいただきご声援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 五十嵐 隆皓

2. 東大戦展望

第 92 回東京大学・京都大学対校陸上競技
大会 兼 第 18 回東京大学・京都大学対
校女子陸上競技大会

令和元年 9 月 28 日(土)
東京大学陸上競技場

～短距離～

男子 100m

加藤 寿昂 (3) 10"53

森本 健太 (2) 10"90

田中 大智 (2) 10"92

男子 100m には加藤(3)、森本(2)、田中(2)が出場する。ランキングは 1 位、5 位、6 位である。加藤は今季チームの主力として活躍してきた。資格記録は 1 位であるが 0.05 秒差で東大の井上がいるため勝ちにこだわってエース対決を制したい。森本は七大戦では風に恵まれず悔しい思いをした。七大戦の結果を見ても 10 秒 7、8 を出せる力は十分にある。これまでに比べ練習を積むことができているためさらに記録を伸ばし、10 秒 7、8 をもつ東大の聲高、村井に勝ってほしい。田中は 10 秒台が安定して出るまで力をつけてきた。最近の練習でもしっかり走れているためさらに殻を破って少しでも多くの得点に期待したい。短短パートとしては 13 点を目指す。

男子 200m

田中 大智 (2) 21"79

浅井 良 (3) 21"80

梶原 隆真 (3) 21"86

男子 200m には浅井(3)、田中(2)、正補交代で梶原(3)が出場する。ランキングは 4 位、3 位、6 位である。

浅井(3)は東大の 400m の戦力との兼ね合いを考慮し 200m の出場となった。大学での出場回数が少なく、資格記録以上も十分狙える。慣れない種目ではあるが 21 秒 31 をもつ東大の井上が調子を崩しているため持ち前の体力、スピードをいかして優勝にも期待したい。田中大(2)は先月の同志社戦では自己ベストを更新し、練習でも走れており好調である。また、100m、200m、リレーの 3 種目こなす体力も十分であるため 200m では東大の井上、聲高としっかり勝負をして、勝負強さを見せてほしい。梶原(3)は同志社戦で大幅に自己ベストを更新し波に乗っている選手である。対校戦という独特の空気のなかでも力を発揮できるまで成長した。東大の香月には確実に勝ち、井上、聲高と果敢に勝負して欲しい。短短パートとしては 12 点を目指す。



↑ 専門外だが好走が期待される浅井(3)

男子 400m

小谷 哲 (4) 47"40

小原 幹太 (4) 48"96

藤田 雄大 (2) 49"60

男子 400m には小原(4)、小谷(4)、藤田雄(2)が出場する。京大はこの種目で2年連続スコנקを達成しており、今年もスコUNKに期待がかかる。4 回生 2 人はこの東大戦が学部生最後の対校戦となるので悔いない走りをしていただきたい。藤田は対校選手として 400m に出場するのは初めてだが 200m や 4×400mR の経験は豊富であり、選考レースで自己ベストを出して抜擢される勝負強さもあるので、東大の選手を圧倒するのはもちろん記録も楽しみとなる。

男子 110mH

小野 貴裕 (4) 14"96

吉川 広祐 (4) 15"16

永田 智季 (2) 15"17

男子 110mH には小野(4)、吉川(4)、永田(2)が出場する。事前ランキングでは 2,3,4 位である。トップの東大馬上是持ち記録ではかなり抜けているが、調子の波は大きくその隙を伺えば勝つチャンスは十分にあるだろう。

小野は院試のブランクで練習を思うように積めてはいないが、七大戦で 14 秒をマークした勢いそのままに打倒馬上に期待したい。吉川は怪我に苦しんでいたが、順調に

回復しているので七大以上の走りができる
と期待できる。永田は今シーズン安定して
記録を出せてはいるが PB には惜しく届い
ていない。ここで一つ殻を破り PB や 14
秒台に乗せ次世代のトッパーを引っ張って
いく存在になって欲しい。

男子 400mH

長谷川 隼 (3) 54"30

五十嵐 隆皓 (5) 54"75

酒井 良佑 (2) 55"30

男子 400mH には五十嵐(5)、長谷川(3)、酒井(2)が出場する。事前ランキングでは 2,3,5 位であるが、七大戦では勝った相手であるのでスコUNKの可能性は十分にある。五十嵐は直近の近国で PB をマークするなど調子は上々である。監督として東大戦最初の種目で流れを作って欲しい。長谷川は 3 連戦を経ながらもしっかり練習を積んでいる。更なる PB 更新と来期の関西 IC に繋がる走りに期待する。酒井は七大戦で大きくランキングを覆して入賞し、その後の試合でも PB を更新するなど今最も勢いのある選手である。今回もランキングを大きく覆す走りに期待したい。

↓幸先の良いスタートを五十嵐(5)酒井(2)



男子 4×100mR

京都大学 40"94

小野 貴裕 (4) 西脇 友哉 (4)

梶原 隆真 (3) 加藤 寿昂 (3)

田中 大智 (2) 藤田 雄大 (2)

森本 健太 (2)

今回は森本(2)-加藤(3)-田中大(2)-梶原(3)でバトンを繋ぐ予定である。目標は優勝である。単純な走力合計だけ見ると東大の方が上であるが4×100mRはゴールまで何が起こるか分からない。今年まだ1回も完璧に繋がっていないバトンをしっかり繋いで牙城を崩し、昼以降の種目に追い風をふかせたい。



↑バトンパスに注目男子4継
(加藤(3)田中大(2))

男子4×400mR

京都大学 3'10"32

小原 幹太 (4) 小谷 哲 (4)

田中 智也 (4) 浅井 良 (3)

平野 亘 (3) 藤田 雄大 (2)

前田 朝陽 (2)

マイルリレーのオーダーは小谷(4)・藤田雄(2)・小原(4)・浅井(3)。先日の全日本

インカレでのオーダーと同じであり、突発的な怪我等がない限りこのオーダーで走る。全員が複数本目であるがそれぞれの持ち記録を見ても東大とは大きな実力差があるので1走から相手を大きく引き離して完勝したい。最終種目に相応しい走りに期待がかかる。



↑有終の美を飾りたい短長pc小原(4)

女子100m

後藤 加奈 (4) 12"98

奥村 夏子 (2) 13"62

女子100mには後藤(4)と奥村(2)が出場する。ランキングは2位、4位である。後藤は練習でも走れており苦手なスタートを改善すれば結果もついてくる。2位は確実にとり、さらに上と勝負することで女子主将として女子最初の種目でチームの士気をあげてほしい。奥村はこの夏練習を積んできた。スタートでしっかりリードを奪うことができれば、格上ではあるものの東大の谷口に勝つこともできるためキレのあるスタートに期待したい。

女子400m

後藤 加奈 (4) 59"70

西川 真悠 (2) 1'02"75

女子 400m には後藤(4)と西川(2)が出場する。資格記録 1 番である東大の内山は実力が頭 1 つ抜けており、得点で差をつけられないためには東大の 2 番手に 2 人ともが勝つことが求められる。実力が拮抗している西川が無事に勝ちきれられるかどうか勝負どころとなるだろう。また後藤は 800m を含めた他種目との兼ね合いの中で専門種目の 400m で優勝を目指せないのは悔しいところではあるが、女子主将として悔いのない走りを期待したい。

↓粘り強さに期待女子主将後藤(4)



女子 4×100mR

京都大学 51"90

後藤 加奈 (4) 花房 柚衣香 (3)

中野 水貴 (3) 奥村 夏子 (2)

西川 真悠 (2) 小西 菜月 (1)

走順は奥村(2)-後藤(4)-花房(3)-西川(2)を予定している。両校短距離の人員不足であるが、走力をみると十分勝つことができる。また、バトン練習も日々積んでいるためスムーズなバトンワークでの勝利、そして記録にも期待できる。



↑しっかり勝ちきりたい女子 4 継
(後藤(4)奥村(2))

～中距離～

男子 800m

木村 佑 (3) 1'51"79

土屋 維智彦 (4) 1'53"11

中尾 友哉 (2) 1'55"56

男子 800m は京大の 3 人と東大の 1 番手である小野との勝負になることが予想される。七大戦で木村(3)、土屋(4)は小野に先着しているが、記録会等の結果からも小野の好調が窺えるため油断は全くできない。中尾(2)は記録では劣っているが今シーズンは何度も記録以上の走りを見せている。京大の 3 人でレースを支配してスコנקを狙う。

男子 1500m

木村 佑 (3) 3'49"20

清原 陸 (3) 3'50"86

前田 裕也 (3) 4'00"80

男子 1500m は両大学ともに七大戦と同じメンバーで臨むことが予想される。木村(3)、清原(3)の力が頭一つ抜けているが、前田と東大の 3 人は混戦となる可能性が高

い。前田裕(3)は七大戦で東大に1人先着されているため、ここでその雪辱を果たしスコンクでの勝利を収めたい。

↓スコンクなるか男子 1500m 前田裕(3)



女子 800m

西川 真悠 (2) 2'19"48

後藤 加奈 (4) NR

女子 800m は後藤(4)、西川(2)ともに東大の1番手より10秒以上速いタイムで走れる実力を持っていることは間違いなく、京大側が優勢となっている。2人とも多種目出場する予定のため、800mでは余裕を持って勝利を収めて次の種目に備えたい。かといって油断していると足下をすくわれてしまうため、気を抜かず着実にレースを展開していきたい。

～長距離～

男子 5000m

久田 雅人 (3) 14'52"93

清水 厚佑 (2) 14'58"13

足立 舜 (2) 15'13"44

男子 5000m には久田(3)、足立舜(2)、清水厚(2)が出場する。久田は怪我の影響

もあり伊勢予選・七大戦では満足いく走りができなかったが、持ちタイムは3人の中で最高である。走力やラストの強さも十分であるため、次期チーフとして優勝が期待される。足立は前半シーズン 3000mSC に取り組んでいたためタイム自体は残していないものの、七大戦 5000m で入賞するなど実力は折り紙付きである。5000m に専念できる数少ない試合でもあるため、優勝のみならず記録にも期待したい。清水は今季すべての試合でほぼ目標通りの走りをしているため、非常に信頼がおける。駆け引き次第では優勝も狙える位置におり、積極的なレースを期待したい。三人とも優勝のチャンスはあり、昨年負け越した悔しさを晴らす大量得点が期待される。



↑丹後へも繋がる好走に期待久田(3)

女子 3000m

藤本 涼 (2) 11'02"86

藤本 のどか (1) 11'12"00

エントリーの段階では京大が2,3番手となっており東大の小柳が10'50で1番手となっているが、小柳は1年生であり七大戦の段階ではまだ走力が戻っておらず、京大の2人が先着している。小柳が七大戦から約2か月でどの程度走れるようになってい

るかは分からないが、京大側も着実に練習できているため実力が劣っているとは考えにくい。2人で東大に先着して女子の総合優勝を大きく引き寄せたい。



↑女子チーム優勝の鍵となる藤本涼(2)

～競歩～

男子 5000mW

馬淵 丈 (2) 22'05"16

池田 尚平 (1) 23'56"77

平岡 拓 (2) 25'15"55

男子 5000mW には馬淵(2)、平岡(2)、池田(1)が出場する。実力的には七大戦優勝の東大後藤が抜けており、そのあとに東大二人と馬淵、池田、平岡と続く。馬淵は順調に練習水準も上がっており、東大二番手に勝ち切りたい。池田も継続して練習できてきたことでPB更新が見えるところまで実力を戻してきている。持ちタイムに差はあるが付けない相手ではなく、くらいついて勝機を狙いたい。平岡は課題の動きも改善してきている。前との差はあり単独のレースが予想されるが自分のペースでレースを進めまずはCBを狙いたい。

～跳躍～

男子走高跳

阪口 裕飛 (2) 2m11

平島 敬也 (4) 1m85

五十嵐 隆皓 (5) 1m80

男子走高跳には五十嵐(5)、平島(4)、阪口(2)が出場する。阪口は記録で他を圧倒している。油断せず、見ている人を一瞬たりとも不安にさせない試合運びをしてほしい。五十嵐、平島はそれぞれ相手の2番手、3番手との戦いになる。どちらも負けると種目全体で負け越してしまうため、必ず勝ってきて欲しい。

↓勢いのある男子走高跳阪口(2)



男子棒高跳

平島 敬也 (4) 4m20

増尾 浩旗 (3) 4m10

黒川 泰暉 (2) 4m10

男子棒高跳には平島(4)、増尾(3)、黒川(2)が出場する。平島は4.20のPBの更新を期待したい。増尾はここ最近記録に恵まれていないが、力は十分にあるはずなので必ず4.20は跳んでくれるであろう。黒川もケガを乗り越え、先日の七大戦ではPBで点を取ってきてくれた。昨年から狙

った試合できちんと記録を出しているの
で、その勢いのまま、この夏の練習の成果
を結果にしてほしい。



↑ 好記録に期待増尾(3)

男子走幅跳

本居 和弘 (4) 7m02

仲村 快太 (2) 6m99

村田 憧哉 (2) 6m84

男子走幅跳には本居(4)、仲村(2)、村田(2)が出場する。相手と記録が拮抗しており大きな点の変動が予想され、故にここを勝ち切ることはチームに大きな意味をもたらす。本居はボトムが7m 付近になってきており、着実な成長を感じる。仲村、村田もこの夏は順調に練習を積めており、3人で7m を跳んで、東大三宅を倒しスコルクを決める大ジャンプを期待したい。



↑ 7m ジャンプに期待大村田(2)

男子三段跳

三神 惇志 (4) 15m08

岩井 響平 (2) 14m16

柳原 拓海 (2) 13m31

男子三段跳には三神(4)、岩井(2)、柳原(2)が出場する。三神は日本 IC 標準の大ジャンプで華々しく優勝を決めて欲しい。岩井は順調に練習が積めている。14.50 程度を跳べれば、相手の 2 番手はもちろん、ケガの程度次第ではあるが相手の 1 番手も喰える可能性も生まれるので、そこに目標を据えて跳んでほしい。柳原は踵に不安があるが、このまま岩井にやられっぱなしでは本人も不服であろう。14m ジャンプを期待したい。

女子走幅跳

花房 柚衣香 (3) 4m52

小西 菜月 (1) 4m31

女子走幅跳には花房(3)、小西(1)が出場する。相手の 1 番手は記録が抜けており、記録の近い残りの 2,3,4 位を争うことになるが、ここできちんと 2,3 位を獲れると女子の勝利に大きく近づく。花房は足のケガのため 8 月に積んできた練習量は少ないが、現在は痛みも無く、元々バネのある選手で、本番での一発を期待できる。小西は練習を積めており、4.50 程度は十分跳べるので、そこまで見据えて試合に臨んでほしい。

～投擲～

男子砲丸投

眞鍋 聡志 (1) 12m48

松井 そら (4) 10m82

三谷 圭 (4) 10m00

砲丸投には松井(4)、三谷(4)、眞鍋(1)が出場する。事前ランキングでは2、4、6位につけている。東大の中村が圧倒的に強く、厳しい戦いが予想される。しかし、3位以下に関しては実力が大きく離れているわけではないため、ここで勝ち切れれば大きなアドバンテージを生むことができる。ここ数年は苦戦を強いられている砲丸投だが、眞鍋を筆頭に善戦したい。

↓ルーキーを中心とした善戦に期待

男子砲丸投眞鍋(1)



男子円盤投

大橋 悟 (4) 46m33

眞鍋 聡志 (1) 36m05

松井 そら (4) 33m79

円盤投には大橋(4)、松井(4)、眞鍋(1)が出場する。事前ランキングでは1、2、4位につけている。大橋は実力が抜けており、大会新記録を更新しての4連覇を狙う。松井は肩の故障もありあまり練習を積めていないが、33~34m程度の記録を残せば十分

3位を狙える位置にいる。眞鍋は先日の近国で怪我をしたが、順調に回復しており当日は問題なく投げられるだろう。東大の1番手とそこまで記録が離れているわけではないため、油断することなく実力を発揮して欲しい。



↑最後の対校戦好記録で4連覇を大橋(4)

男子ハンマー投

三谷 圭 (4) 47m78

大橋 悟 (4) 45m93

藤田 歩 (3) 42m70

ハンマー投には三谷(4)、大橋(4)、藤田歩(3)が出場する。事前ランキングは1、2、3位につけている。三谷は京大記録の更新を目標とし、練習を積んできた。選手として迎える最後の対校戦で、今までの取組みの成果を存分に発揮し、存在感を見せつけて欲しい。大橋は七大戦以降不調であるが、パートチーフとしての意地で何としても順位を守りたい。藤田もあまり調子はよくないが、それでも東大の1番手とは実力差がある。普段から三谷と共に試行錯誤し続けてきた成果を、対校戦という舞台で遺憾なく発揮して欲しい。

男子やり投

澤田 剛 (3) 61m64

松井 そら (4) 52m92

山野 陽集 (2) 51m89

やり投には松井(4)、澤田(3)、山野(2)が出場する。事前ランキングは1、2、3位につけている。松井は多種目出場となるが、混成選手らしく最後まで集中を切らさずに競技して欲しい。肩の調子はよくないが、50m 投げれば3位以上は固いと思われるため、その辺りの記録を意識したい。澤田は実力が抜けており優勝するだろう。記録との戦いになるが、京大記録の更新も狙いつつ、次期フィールドパートチーフとしての存在感を見せつけて欲しい。山野はPB 付近の記録を安定して投げられるようになってきた。助走の改善にも取り組んでおり、練習の成果を発揮し、大幅 PB を出して欲しい。

女子砲丸投

中野 水貴 (3) 9m65

福井 優輝 (4) 9m62

女子砲丸投には福井(4)、中野(3)が出場する。ランキングでは1、2位につけており、東大の選手とは大きく実力が離れているためスコルクは間違いない。福井は最後の対校戦となるため、かねてから目標にしていた10mを目指し、思い切り投げて欲しい。中野はあまり砲丸投の練習は積めていないが、実力はあるので落ち着いて投げて欲しい。女子の種目は少ないため、この種目で着実に優位をとりつつ、良い流れを作りたい。



↑ 10m を投げて有終の美を福井(4)

3. 東大戦日程

第 92 回東京大学・京都大学対校陸上競技大会 兼 第 18 回東京大学・京都大学対校女子
陸上競技大会

令和元年 9 月 28 日(土)

東京大学陸上競技場

開始時刻	種目		ラウンド	備考
トラック				
10:00	男子	400mH	対校	五十嵐(5)・長谷川隼(3)・酒井(2)
10:15	男子	100m		加藤(3)・田中大(2)・森本(2)
10:20	女子			後藤(4)・奥村(2)
10:30	男子	1500m		木村(3)・清原(3)・前田裕(3)
10:45	男子	5000m	オープン	
11:35	男子	400m	対校	小原(4)・小谷(4)・藤田雄(2)
11:40	女子	800m		後藤(4)・西川(2)
11:50	男子	5000mW	対校・オープン	平岡(2)・馬淵(2)・池田(1)
12:30	男子	110mH	対校	小野(4)・吉川(4)・永田(2)
12:40	男子	4×100mR		森本(2)-加藤(3)-田中大(2)-梶原(3)
12:50	男子	800m		土屋(4)・木村(3)・中尾(2)
12:55	男子		オープン	
	女子			
13:50	女子	400m	対校	後藤(4)・西川(2)
13:55	男子	200m		浅井(3)・梶原(3)・田中大(2)
14:00	男子		オープン	
	女子			
14:55	女子	3000m	対校	藤本涼(2)・藤本の(1)
15:15	男子	5000m		久田(3)・足立舜(2)・清水厚(2)
15:40	女子	4×100mR		奥村(2)-後藤(4)-花房(3)-西川(2)
15:50	男子	4×400mR		小谷(4)-藤田雄(2)-小原(4)-浅井(3)
跳躍				
10:00	男子	走高跳	対校	五十嵐(5)・平島(4)・阪口(2)
10:30	男子	走幅跳	対校・オープン	本居(4)・仲村(2)・村田(2)
	女子			花房(3)・小西(1)
13:30	男子	棒高跳	対校	平島(4)・増尾(3)・黒川(2)
14:00	男子	三段跳		三神(4)・岩井(2)・柳原(2)

投擲				
10:00	男子	ハンマー投	対校	大橋(4)・三谷(4)・藤田歩(3)
11:30	男子	円盤投		大橋(4)・松井(4)・眞鍋(1)
13:30	男子	砲丸投	対校・オープン	松井(4)・三谷(4)・眞鍋(1)
	女子			福井(4)・中野(3)
14:30	男子	やり投	対校	松井(4)・澤田(3)・山野(2)

4. 同志社戦結果

第 89 回同志社大学・京都大学対校陸上競技大会

令和元年 8 月 18 日(日)
たけびしスタジアム京都
(西京極総合運動公園陸上競技場)

▼男子 100m				
加藤 寿昂		10.90	-0.5	3 位
田中 大智		11.00		
梶原 隆真		11.17		
▼男子 200m				
田中 大智		21.79	-0.2	3 位 自己新
梶原 隆真		21.86		自己新
藤田 雄大		21.92		自己新
▼男子 400m				
浅井 良		47.15		優勝 自己新 京大新
前田 朝陽		51.17		自己新
武波 夏輝		51.47		
▼男子 800m				
木村 佑		1:54.54		優勝
川井 景太		1:57.06		
平中 章貴		2:00.06		
▼男子 1500m				

清原 陸		4:06.18	優勝
宇佐美岳良		4:06.32	2 位
吉村 柊太		4:12.75	3 位
▼男子 5000m			
久田 雅人		15:19.54	優勝
清水 厚佑		15:26.76	2 位
鈴木洋太郎		15:43.75	3 位
▼男子 110mH			
永田 智季		15.41	-0.9 2 位 大学新
酒井 良佑		15.77	
長谷川 隼		16.01	
▼男子 400mH			
長谷川 隼		55.21	
酒井 良佑		56.19	
吉井 希祐		1:00.99	自己新
▼男子 4×100mR			
京都大学 (梶原-加藤- 田中大-藤 田雄)		DQ	
▼男子 4×400mR			
京都大学 (浅井-藤田 雄-木村-前 田朝)		3:18.63	2 位

▼男子走高跳				
阪口 裕飛		2m11	優勝 自己新	京大新
▼男子棒高跳				
黒川 泰暉		3m80	3 位	
鄭 晟皓		3m00		
増尾 浩旗		NM		
▼男子走幅跳				
本居 和弘		7m00	+0.9	優勝
村田 憧哉		6m84	+1.3	大学新
坂本 璃月		6m50	+0.5	大学新
▼男子三段跳				
岩井 響平		13m75	+0.8	3 位
松原 耕平		12m63	+0.1	

柳原 拓海		12m63	+0.2	
▼男子砲丸投				
鄭 晟皓		8m88	自己新	
今西 直		8m31	大学初	
▼男子円盤投				
大橋 悟		44m32	優勝	
鄭 晟皓		27m42	自己新	
▼男子ハンマー投				
三谷 圭		46m32	優勝	
大橋 悟		39m05	2 位	
藤田 歩		38m83	3 位	
▼男子やり投				
澤田 剛		61m39	2 位	
山野 陽集		51m76		
今西 直		38m43		

5. 記録会等の結果

第3回滋賀陸上競技協会記録会

令和元年8月12日(月)
皇子山総合運動公園陸上競技場

▼男子 100m				
小原 幹太		11.59	-1.8	自己新
▼男子 400m				
田中 智也		50.40		

滋賀県国体選手選考会

令和元年 8 月 12 日(月)
皇子山総合運動公園陸上競技場

▼男子やり投				
浅野 智司		56m01		

第 76 回全日本医歯薬獣医大学対校陸上競技選手権大会

令和元年 8 月 22 日(木)23 日(金)
万博記念公園陸上競技場

▼男子 200m				
西脇 友哉	予選	24.10	-2.8	
	準決	23.01	-1.9	

第 92 回関東陸上競技選手権大会

令和元年 8 月 23 日(金)24 日(土)25 日(日)
群馬県立敷島公園県営陸上競技場

▼男子 800m				
木村 佑	予選	1:58.37		
▼男子 1500m				
木村 佑	予選	4:00.54		
	決勝	4:04.13	5 位	
▼男子 400mH				
五十嵐隆皓	予選	54.86		
▼男子やり投				
澤田 剛	決勝	57m98		

第 61 回北陸陸上競技選手権大会

令和元年 8 月 24 日(土)25 日(日)

9.98 スタジアム

▼男子 100m				
加藤 寿昂	予選	10.84	+0.1	
	準決	10.72	+2.8	
	決勝	10.75	+0.6	7 位

平成 31 年度第 3 回奈良市記録会

令和元年 8 月 24 日(土)25 日 (日)

奈良市鴻ノ池陸上競技場

▼男子 100m				
数多 伸紀		11.81	-2.1	
芦田 開	I	12.37	-3.3	
	II	12.10	+0.6	
▼男子 1500m				
谷川 尚希		4:15.23		
▼男子三段跳				
瀧瀬 祥良		13m40	+0.4	
▼女子 800m				
中野 紗希		2:30.95		大学初
▼女子 1500m				
中野 紗希		5:00.41		大学新

2019 関西学生新人陸上競技選手権大会兼デ ィムライトリレーズ

令和元年 8 月 27 日(火)28 日(水)

ヤンマーフィールド長居

▼男子 800m				
中尾 友哉	予選	1:57.55		
	B 決	1:55.87		2 位
川井 景太	予選	1:57.56		
	B 決	1:57.06		3 位
▼男子 110mH				
永田 智季	予選	15.87	-4.1	

	準決	15.48	-1.4	
中村 鮎夢	予選	16.73	-2.9	大学初
▼男子 400mH				
酒井 良佑	予選	55.30		自己新
	B 決	56.93		6 位
▼男子走高跳				
阪口 裕飛	決勝	2m09		優勝
▼男子走幅跳				
村田 憧哉	決勝	6m65	+0.8	
▼男子三段跳				
岩井 響平	決勝	13m22	+2.3	
	公認	12m96	+0.9	
▼女子 800m				
西川 真悠	予選	2:24.79		
▼女子 100m				
藤本のどか	決勝	5:08.28		大学初
▼女子 4×100mR				
京都大学 (奥村-後藤- 花房-中野)	予選	54.07		
▼女子走高跳				
小西 菜月	決勝	1m45		

2019 年度第 4 回強化・普及記録会

令和元年 9 月 1 日(日)

奈良市鴻ノ池陸上競技場

▼男子 200m				
浅井 良		21.80	+0.1	自己新
小谷 哲		22.07	+0.1	
▼男子 400m				
藤田 雄大		49.60		自己新

第 87 回近畿陸上競技選手権大会

令和元年 9 月 7 日(土)8 日(日)

ヤンマーフィールド長居

▼男子 100m				
澤 薫	予選	11.22	+0.4	
▼男子 1500m				
岡野 颯斗	タ決	4:11.53		
▼男子やり投				
浅野 智司	決勝	57m49		
▼女子円盤投				
横山 優花	決勝	35m10		

第 88 回日本学生陸上競技対校選手権大会

令和元年 9 月 12 日(木)~15 日(日)

岐阜メモリアルセンター長良川競技場

▼男子 100m				
加藤 寿昂	予選	10.70	+0.2	
▼男子 800m				

木村 佑	予選	1:52.90	
▼男子 1500m			
木村 佑	予選	3:57.19	
▼男子 4×400mR			
京都大学 (小谷- 藤田雄-小 原-浅井)	予選	3:12.55	

第 26 回関西医歯薬科学生対校陸上競技大会

奈良市鴻ノ池陸上競技場

令和元年 9 月 16 日(月)

▼男子 200m				
西脇 友哉	予選	22.16	+1.3	自己新
	決勝	21.99	+2.5	3 位



蒼穹ニュース 令和元年度 第6号
令和元年9月21日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：犀川啓太・鈴木洋太郎・前田朝陽・柳原拓海（副務）
特別協力：三田村侑紀・山口佳那子（学連員）
武波夏輝・藤田雄大（記録係）・浅井良（HP 係）
写真担当：鶴見薫樹・永田智季・平岡拓・吉井希祐

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス liuyuantahai9@gmail.com （柳原）